



TEAM白旗小

ふるさとを愛し 夢に向かって
主体的に学び続ける 児童の育成



甲佐町立白旗小学校
学校便り 第16号
令和5年11月16日発行
文責：原田加代子

甲佐町夢チャレンジ事業～萩野公介さんの講演がありました～

甲佐町の子供達に夢・目標をもつこと、それに向かって努力することの大切さを学ぶ目的から、甲佐町主催の「夢チャレンジ事業」として、水泳競技メダリストの萩野公介さんの講演が、11月6日（月）甲佐中学校体育館で行われました。

各小学校の5・6年生、中学生（全生徒）が集まる中、萩野さんは、「自分で決めた目標は、立てた時点で自分の責任として取り組むこと」「結果より、その過程が大切だ」と話をしてくださいました。子供達も、萩野さんの話をしっかり聞き、メッセージを受け止めていたようです。

講演の終わりに、白旗小の児童5人がその場で質問を考え、主体的に質問をするなど、白旗っこの頑張りが見られた時間にもなりました。



読書の秋 ～校内読書週間～

子供達に、読書の楽しさを味わい、読書習慣が身に付くよう校内読書週間を設け取り組んでいます。全校集会では、私から、読書をする、心が豊かになったり、想像力が高まったり、自分の考えを作者の言葉を借りて説明できるようになったりと読書することで様々な力が付くことを話しました。また、担任外の先生方やPTAの方の読み聞かせ、図書委員による読書の意欲を高めるイベントなどに取り組んでいます。ご家庭での親子読書も大変お世話になりました。様々な力が付く読書。これからも、機会を見つけて親子で読書を楽しんでください。

なぜ、読書はだいじ？

【はたらき】 ・目をはたかせながら 知ってること、 けいけんしたことを つかって読む ⇒のうや、しんけい にはたらきかける 頭をはたかせている		とんとん よくなる ①すじみちをたてて考える力がつく ②そうぞうする力が高まる ③自分の考えをつたえることができるようになる ④やさしい心が高まる
---	--	--



先生による読み聞かせ



図書委員によるおすすめの本の紹介

地域・保護者の方に支えられ、子供達は成長しています

11月も、地域の方の挨拶運動や、民生委員さんと1年生との花の苗植えなど、地域の方との交流がありました。

また、低学年の児童が安全・安心に下校できるよう、学校運営協議会の委員さん、老人会、区長、民生委員のみなさんを中心に地域・保護者の方にもご協力いただき、見守りを行っていただいています。地域の方の温かさにもふれながら、子供達が成長できることを、ありがたく感じています。



挨拶運動



民生委員さんとの花の苗植え



1年生からの歌のプレゼント